



予行演習のときのひとコマ。初めてしろぐみさんみんなで合奏をしているところを見たいぐみさんとあかぐみさん。しろぐみさんの真剣に取り組む表情を見て、それまで少しざわついていた空気が一変、シーンと静かになり、食い入るようにしろぐみさんの姿を見ていました。保育者が「静かに見ましょう！」と言わなくてもちゃんと状況判断できている姿に成長を感じました。そんな空気を作り出せるしろぐみさんも素敵です。

しろぐみ M ちゃんのエピソード。忍者チームさんで鉄棒の逆上がりに挑戦すると決めた M ちゃん。普段のあそびの時からチャレンジしていたのですが、なかなか成功することができず悔しい思いをしながらも、発表会では「どうしてもさかあがりが見たい！」と毎日頑張っていました。そんな M ちゃんのおもいにお家の方も応えてくださり、毎日お家に帰ってから、寒くて暗い公園で、温かいタオルで冷たくなった鉄棒を温めながら、練習に取り組んでくださったそうです。そしてなんと本番では大成功！保育者みんなに感動を与えてくれた M ちゃんでした。今回の M ちゃんの頑張りは、保護者の方のあたたかいまなざしと関わりがあってこそ継続していったものだと思います。この経験はきっと M ちゃんの自信につながり、今後いろいろなことにチャレンジしようとする気持ちに続いていくことでしょう。



今回の発表会の取り組みを通して、異年齢の関わり大切さ、そして、保育園と保護者の方が一緒に子どもの成長を見守っていくことの大切さを改めて感じました。子どもたちの成長を保障するためには、周りの大人たちが同じ気持ちでかかわっていくことが大切です。今後もドキュメンテーションやおたより帳などを通して、普段の子どもたちの様子や保育のねらいなどをたくさん発信していき、園での取り組みをご理解いただきながら、保護者の方と一緒に日出みみょうの“楽しい保育”を進めていければと思います。

幼児園主任